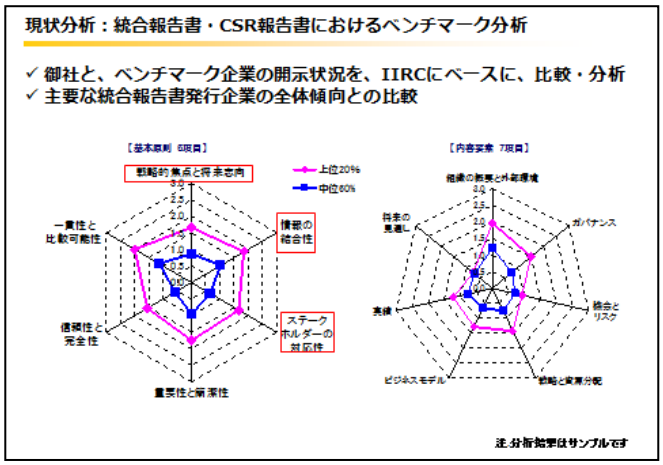
2014 年 12 月 24 日

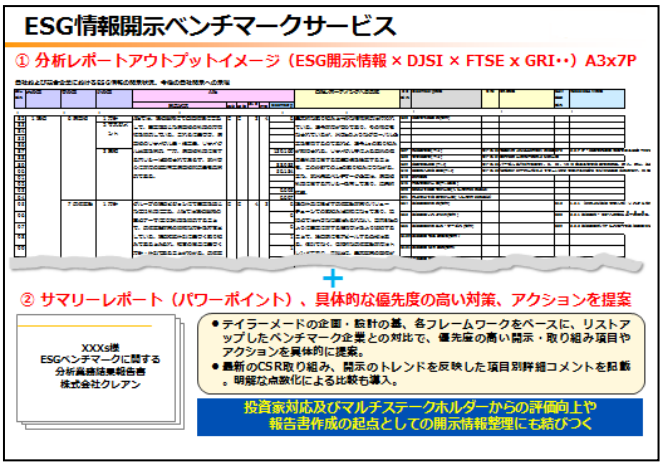
PRESS RELEASE

中長期的な企業価値向上に資する分析・診断サービス

「統合報告書ベンチマーク」と「非財務（ESG）情報開示のベンチマーク」

株式会社クレアンは統合報告支援のサービスとして、長期的価値創造ストーリーのコミュニケーションに向けた解決策を提示する「統合報告書ベンチマークサービス」、および、長期志向投資家・マルチステークホルダーの評価向上や開示情報の整理に有益な「ESG 情報開示ベンチマークサービス」を開始しました。





近年、投資家の間では、投資判断に際して財務情報だけでなく非財務情報を考慮することが必要であるとの認識が広まっています。また、金融庁が 2014 年 12 月に公表した「日本版コーポレートガバナンス・コード原案」では、中長期的な企業価値の向上に向けて株主との建設的対話を行うことが重視されており、そのための基盤として、企業に対して、ESG 情報開示への主体的取り組みを求めています。このような対話のツールとしても統合報告書が重要になってきています。

「統合報告書ベンチマークサービス」は、統合報告の世界唯一のフレームワークである IIRC（国際統合報告評議会）フレームワークの考え方に基づき、クレアンオリジナルの 34 の評価項目を策定、各社の統合報告書を分析・評価するものです。会社固有の長期的価値創造ストーリーを伝えるための具体的な改善策を提示することで、次年度以降の統合報告書作成に向けた検討のポイントを提示します。

また、金融庁による「スチュワードシップ・コード」や「コーポレートガバナンス・コード」の導入により、投資家への適切な ESG 情報の開示が不可欠となる中、「ESG 情報開示ベンチマークサービス」では比較対象企業（3 社～最大 12 社）と、開示情報と DJSI、FTSE、GRI 等様々なフレームワークとの対応状況を比較分析し、アクションプランをレポートとして提示することで、企業の持続的な成長を促す支援を行います。

＜株式会社クレアン＞
代表取締役　薗田綾子
1988 年設立。「サステナブル（持続可能）な社会を実現する」ことを使命に、経営コンサルティング事業を展開。
2000 年より 15 年間にわたり、大企業を中心に CSR 体制の立ち上げ、マネジメントの推進、CSR レポート、統合報告書をはじめとした情報開示およびステークホルダーとのコミュニケーション支援を一貫して行っています。

＜本件に関するお問い合わせ＞
株式会社クレアン
〒108-0071　東京都港区白金台 3-19-6　白金台ビル 5 階
TEL：03-5423-6920　/FAX：03-5423-6921 Email：service@cre-en.jp